

今年の FIG 年次総会は 2011 年 5 月 18 日から 22 日にかけてモロッコのマラケシュで行われた。マラケシュは世界遺産にも登録されている北アフリカでも最大の旧市街（メディナ）をもち、遠くにアトラス山脈を望むピンク色に統一された町並みが美しい都市である。会場は宿泊した Mansour Eddahbi ホテルに隣接するコンgresセンターであった。



コンgresセンター

総会は 50 ヶ国の会員と 300 名の出席者により行われた。





総会での会長挨拶

総会と並行して行われた技術講演会には、90ヶ国、1500名を越える参加者があった。今回の総会の最大のテーマは2011-2014のFIGの作業計画を採択することである。昨年改選された会長、副会長の新執行部による最初の仕事である。執行部が4年間の運営方針として打ち出したのは、

### ***“Engaging the Challenge: Enhancing the Relevance”***

という言葉である。“測量者の地位向上に挑戦し、測量の有用性を高める”ということであろうか。この標語の下に以下のことをすすめるという計画である。

- ・測量者の地位や評判が高まるように努力する。
- ・国連や世界銀行と協力してグローバルな挑戦を続けていく。
- ・測量の重要性を高め、測量が、環境や経済といった社会にとって有用なものであることを広める。

さらに

FIG会員の獲得特に南アメリカと中央アメリカ、カリブ海地域の会員獲得やFIGの宣伝強化、特にHPの強化やFIG年報の継続、評議会と委員会活動の周知に努めていくことが盛り込まれていた。

この他に各委員会毎の作業計画も発表され採択された。

個人的に感慨があったのは、今回の大会で新たに気候変動の測量に与える影響を議論するタスクフォースが設置され、議長にニュージーランドのオタゴ大学 Hannah 教授が選ばれたことである。彼とはオハイオ州立大学大学院で一緒であった。30数年ぶりの再会であった。

以下総会の様子を細かく見ていこう。

## 34 回総会

5 月 18 日 (水)

### 1 開会

CheeHai Teo 会長による開会宣言

### 2 点呼

Rudolf Staiger 副会長による出席会員の点呼

### 3 投票集計係任命

前回開催国のオーストラリアと今回開催国モロッコの協会から 2 人任命

### 4 議題の採択

### 5 第 33 回総会議事録の承認

### 6 新規会員の承認

会員：エチオピア測量士協会、セネガル測量士協会他ナイジェリア、マリ、リベリアの 5 会員

会員の除名（会費未納 3 年）：アルメニア、ブラジル、ブルキナファソ、タンザニアの 5 会員

現在の会員数 102

新規連携会員の承認

中国測量計画研究所、スリランカ測量局、キプロス測量局等 4 会員、：現在の連携会員数 40

新規企業会員の承認

FARO 社（ドイツ）、Hi-Target 社（中国）、等 4 社

企業会員の退会：

インターグラフ、TOPCON、SOKKIA、等 7 社

現在の企業会員数：30

新規学会会員の承認

トルコ、カザフスタン、ノルウェイ、の 7 学術機関

現在の学会会員数：92

### 7 FIG2007-2010 活動評価報告 Prof. Stig Enemark

### 8 FIG 会長報告

### 9 名誉会長候補

Prof. Stig Enemark

- 10 分科会報告 2007-2010  
1～10 分科会
  
- 11 FIG 常設機関の報告  
国際地籍記録事務所 (OICRF) の報告  
国際測量歴史研究所 (IHSM) の報告
  
- 12 FIG 財団の報告
  
- 13 タスクフォースの報告  
「研究所や組織機関での能力開発について」の報告
  
- 14 国連、世界銀行との協力についての報告
  
- 15 国際的測量専門機関との連携  
FIG と GSDI (グローバル空間データインフラ協会) の合意事項についての報告
  
- 16 FIG 評議会 2011-2014 作業計画
- 17 FIG 分科会 2011-2014 作業計画
- 18 測量士と気候変動に関するタスクフォース
- 19 財産と住居に関するタスクフォース
- 20 2010 年決算書ならびに監査報告、2011-2014 年予算書
- 21 2013 年会費  
2013 年 : 4.48€/会員



総会の代表団席（左は来年の開催国イタリアの代表と右はケニアの代表）  
総会の後半は最終日に開かれ、以下のような内容であった。

## 総会第2部

4月16日（金）

- 25 点呼
- 26 会員承認
- 27 諮問委員会(ACCO)報告、分科会報告
  
- 28 タスクフォース報告
  
- 29 企業会員との協力についての報告
- 30 投票権問題
- 31 2015年の総会開催地の決定
- 32 2014クアラルンプール大会の準備状況
- 33 2013アブジャ大会の準備状況
- 34 2012年ローマ総会の準備状況
- 35 表彰者発表

総会の後は全体会合と技術講演会である。全体会合は3つ用意され、大会2日目、3日目、4日目の冒頭に開催された。

#### 全体会合1

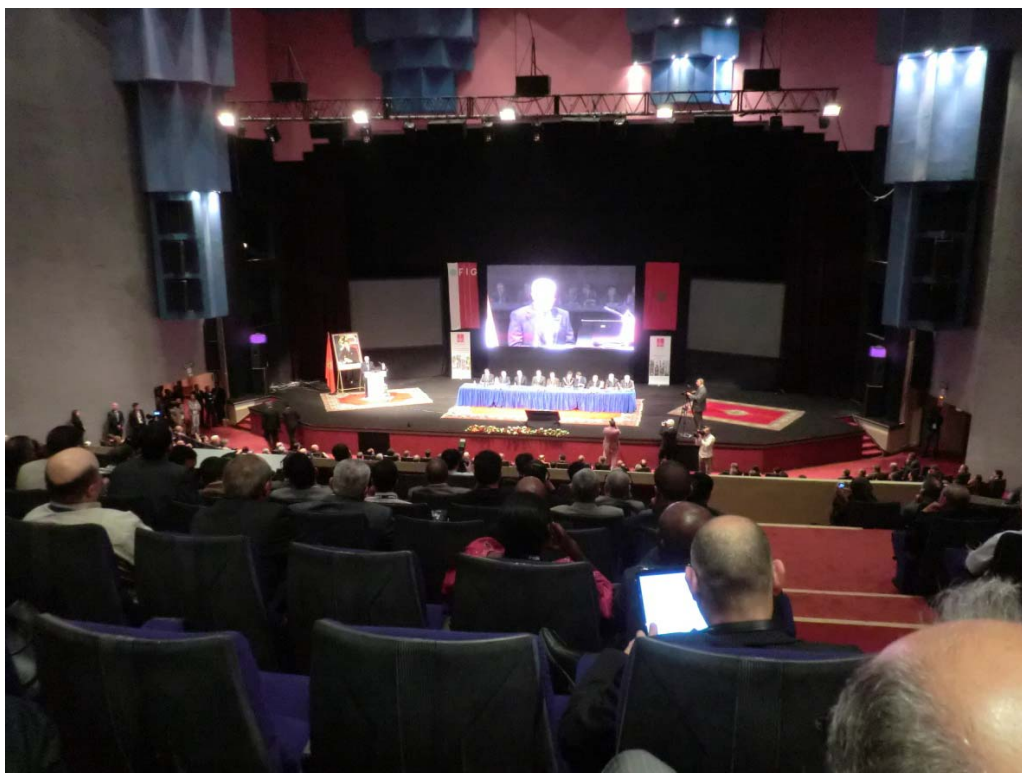
文化間のギャップをつなぐ知識と技術

これは今大会のテーマである“Bridging the Gaps between Cultures “を議論するものである。Andre Azoulay、Aida Opoku-Mensah、Chris Gibson がそれぞれの立場から文化ギャップの問題を取り上げた。

Andre Azoulay はモハメド6世モロッコ国王の顧問である。1941年生まれでパリで経済学、国際関係、ジャーナリズムを学んだ。専門は地域問題と銀行経営である。モロッコ中央銀行やモロッコ王立アカデミー、スペイン王立アカデミー経済財政部門の活動に関わっている。

Aida Opoku-Mensah は、国連アフリカ経済委員会情報通信科学技術部長  
ガーナ出身でアフリカの情報通信の開発に携わってきた。ナイジェリアラゴスのフォード財団の西アフリカ事務所やザンビアのルサカで南アフリカ地域部で働いてきた。

Chris Gibson は、トリンブル社の副社長である。1998年からトリンブルで働いている。



全体会合の様子

## 全体会合 2

### 管理と地域化

2 番目の全体会合では、地域管理の問題を、Saad Hassar、Omar Azziman、Holger Magel が議論した。

Saad Hassar は、モロッコの内務大臣である。公共省で働き始め 1980 年から港湾局の開発に携わる。

Omar Azziman は、ラバト大学法律学部教授であり、地域問題委員会の議長である。

Holger Magel は、ミュンヘン工科大学測地学 GIS 研究所教授である。また FIG の名誉会長である。

## 全体会合 3

### 環境問題と持続可能な開発

3 番目の会合では、Abdelkebir Zahoud、Kamel Ayadi、Stig Enemark が環境問題について議論した。

Abdelkebir Zahoud は、モロッコのエネルギー、鉱山、水資源、環境省大臣

Kamel Ayadi は、科学技術の国際コンサルタント

Stig Enemark は、デンマークアールボルグ大学土地管理学部教授、前 FIG 会長

技術講演には 500 の論文が提出され、第 1 分科会から第 10 分科会まで 10 の委員会毎に技術講演が行われた。

講演内容は、以下示すように、地籍、応用測量、都市計画、不動産管理、測地、測量カリキュラム、リモートセンシング、変形監視、空間情報、土地登録、レーザースキャナーとおよそ測量に関するすべての分野を扱っている。日本からの発表者が少なかったのは残念であるが、測量会社にいる技術者には是非発表してもらいたいと強く感じた次第である。測量者連盟としても今後日本からの発表者には、旅費等の援助を考えていきたいと思っている。

### 技術講演

TS01A	C5	基準系	5
TS01B	C7	土地行政	5
TS01C	C3,7	3D 地籍	6
TS01D	C8	都市計画	5
TS01E	C6	変形監視	6
TS01F	C1	測量士ネットワーク	3
TS01G	C9	投資と財政	3
TS01H	C2	測量カリキュラム	5
TS01I	C3	空間情報	6
TS01J	C7,3	土地登録	5

TS02A	C5	CORS	5
TS02B	C7,3	地籍	5
TS02C	C3,	空間情報	6
TS02D	C7	土地統合	4
TS02E	C6	土地変形	4
TS02F	C5	リモートセンシング	5
TS02G		アフリカタスクフォース	
TS02H	C2	測量カリキュラム	5
TS02I	C3	空間情報	6
TS02J	C7,1	組織法律	6
TS02K	C3	空間情報社会	5

TS03A C5 CORS 7  
TS03B C7 土地行政 3  
TS03C C3, 空間情報 5  
TS03D C9 不動産管理 3  
TS03E C6 土地変形 3  
TS03F C5 リモートセンシング 3  
TS03G アフリカタスクフォース  
TS03H C2 測量カリキュラム 4  
TS03I C3 空間情報 6  
TS03J C7 地籍 6

TS04A C5 測地学 5  
TS04B C7 アフリカの土地行政 8  
TS04C C3, 空間情報管理 6  
TS04D C9 不動産評価 5  
TS04E C6 レーザースキャナー 5  
TS04F C10 組織管理 5  
TS04H C7 土地管理 7  
TS04I C4 水路測量 5  
TS04J C5,6 応用測地 4

TS05A C5 測地学 8  
TS05B C7 土地管理 5  
TS05C C3, 空間情報 6  
TS05D C8 環境計画 5  
TS05E C9 土地評価 4  
TS05F C10 組織管理 3  
TS05H C7 地籍 8  
TS05I C3 空間情報 6  
TS05J C4 水路測量 7  
TS05K C7 アフリカの土地保有 6

TS06A C5,3,8 GNSS 8  
TS06B C7 土地管理 6  
TS06C C3, 空間情報 5  
TS06D C8 都市計画 7  
TS06E C6 レーザースキャナー 7  
TS06F C10 持続可能な開発 4  
TS06H C1,7 土地境界 2  
TS06I C3 土地評価 5  
TS06J C4 水路測量 6

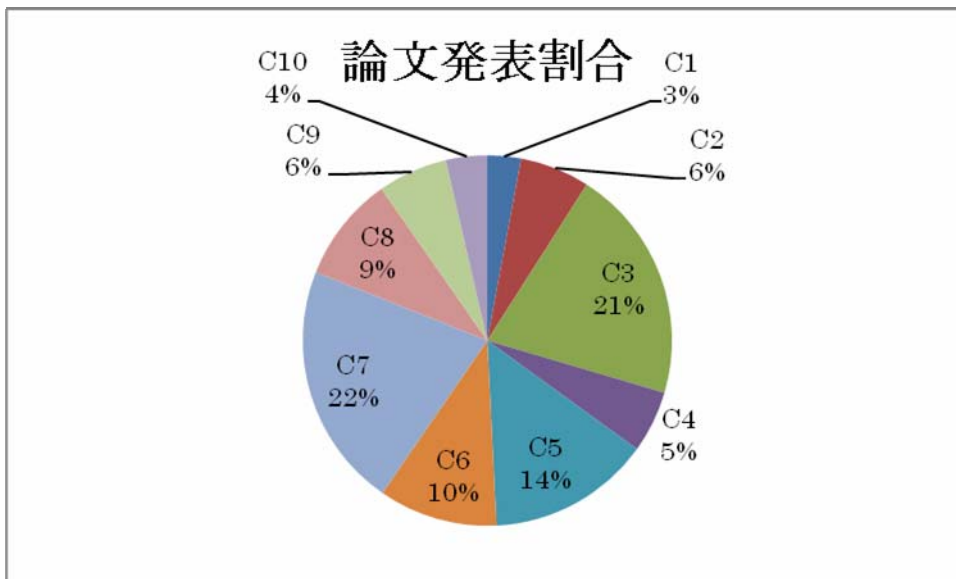
TS07A C5 ジオイド 5  
TS07B C7 土地行政 7  
TS07C C3,7 空間情報管理 5  
TS07D C8 都市計画 6  
TS07E C6 応用測量 6  
TS07F C5.6 GNSS 5  
TS07G C7,3 土地情報 8  
TS07H C2 測量教育 3  
TS07I 気候変動タスクフォース 4  
TS07J C9 不動産市場 5

TS08A C5 GNSS 6  
TS08B C7,8,3 リスク管理 4  
TS08C C3, 空間情報 6  
TS08D C8 都市計画 6  
TS08E C6 応用測量 6  
TS08F C5 網平均と座標変換 3  
TS08G C9 税金と強制収用 5  
TS08H C2 測量教育 4  
TS08I C1 測量サービス 6  
TS08J C4 水路技術 6



TS09A	C5,6	モバイルマッピング	3
TS09B	C7	土地改良	4
TS09C	C3,	空間情報	6
TS09D	C8	PPP	8
TS09E	C6	応用測量	4
TS09F	C10	建設経済	4
TS09G		測量の歴史	5
TS09H	C2	品質保証	6
TS09I	C7	土地の権利	6
TS09J	C7,3	地籍	
TS09	C9,7	土地評価	4

C は、委員会を表す。





技術講演の様子（パスコ塚原弘一氏の発表：C6 第6分科会での発表）

## 商業展示

新規企業会員では、中国企業が新たに加わり、TOPCON、SOKKIA という日本を代表する企業が退会した。これも今の世界の勢いとはいえ残念である。



商業展示の様子 I (昨年はあったのに TOPCON)



商業展示の様子 II (中国企業の進出が目立つ)

### マラケシュ旧市街

マラケシュは個人的な旅行で訪れたことがあり、今回は2度目になる。旧市街のスークは、人懐こい活気に満ちていた。出発前は爆弾騒ぎがあったジャマ・エル・フナ広場も何事もなかったかのようにいつもの賑わいであった。



スークの様子



ジャマ・エル・フナ広場